

2026 年度 文化・芸術活動に優れた者の特別選抜入学試験  
2026 年度 スポーツ能力に優れた者の特別選抜入学試験  
「産業社会学部」

1. 実施状況

志願者数、合格者数等

【文芸】

学科・専攻	志願者数	1次合格者数	最終合格者数
現代社会学科 現代社会専攻	8	8	3
現代社会学科 メディア社会専攻	3		2
現代社会学科 スポーツ社会専攻	1		1
現代社会学科 子ども社会専攻	2		1
現代社会学科 人間福祉専攻	3		1
計	17	8	8

【スポーツ】

学科・専攻	志願者数	1次合格者数	最終合格者数
現代社会学科 現代社会専攻	12	32	7
現代社会学科 メディア社会専攻	2		4
現代社会学科 スポーツ社会専攻	20		14
現代社会学科 子ども社会専攻	5		2
現代社会学科 人間福祉専攻	2		4
計	41	32	31

※ 志願者は出願時に 5 つの専攻すべてに志望順位をつけて出願する。上記の各専攻の志願者数は第 1 志望として当該専攻を選択した志願者数である。

※ 合格者の専攻は、最終合格発表時に決定する。

2. 試験内容

第 2 次選考の口頭試問では、志望理由、入学後の計画、学業と課外活動の両立および社会問題への関心と知識について問いました。

3. 出題意図

産業社会学部の学びを理解したうえで、入学後の具体的な学びについて十分な意欲と計画を有しているかを確認しました。

4. 評価ポイント

産業社会学部の学びの内容を理解したうえで大学入学後の学びについて具体的な計画を有し、課外活動と学業の両立について十分な意欲を有しているか。また、学部での学びに関連する社会的問題に気づくことのできる洞察力およびそれに対する自分なりの考えと知識を評価しました。

## 5. 解答状況

口頭試問における受験生の皆さんの回答には、十分に考察を重ねたものから、そうではないと受け取られるものまで、さまざまな傾向が見受けられました。

社会問題に関する質問では、SNS 等の情報をそのまま引用したと思われる回答が見られました。また、本学部での学びに関する質問においては、事前に連絡を取っていたと推察される指導者の助言に依存し、質問内容を変えても同様の回答を繰り返すなど、理解が十分でない状況もうかがわれました。

一方で、これらについて深く検討したうえで示された優れた回答も多くありました。しかしながら、上記のような課題のある回答が見られた点は残念であり、今後の改善を期待します。受験生の皆さんには、来年度以降の準備において、自ら考え理解を深める姿勢を一層大切にしていきたいと思えます。

## 6. 次年度以降の受験生へのアドバイス

産業社会学部では学生それぞれが深く学びたいテーマを決め、学んだ内容を卒業論文としてまとめることが卒業に必要となっています。そのためには、専門的な学びを支える基礎学力も欠かせません。産業社会学部を志望する受験生は、産業社会学部における学びの内容を十分に理解したうえで、入学後の学びのテーマや課外活動と学業の両立について、基礎学力の向上も含めた具体的な計画を立てて欲しいと思えます。

## 7. 進路指導上の留意点（主に高校教員向けの入試指導上のポイント）

産業社会学部では卒業論文が必須化され、学業と課外活動を両立しようとする強い意欲が従来以上に求められています。産業社会学部のアドミッション・ポリシーをご確認いただき、受験生が課外活動とともに入学後の学びにも意欲的に取り組めるよう、本学部の学びに適合する関心を見だし、解決にアプローチする学びを始められるようにご指導いただきたいと考えます。また、受験生が入学後に本学部での学修を円滑に進めるために必要となる基礎学力を身につけられるよう、ご指導をお願いいたします。

なお、産業社会学部で設置している各種の資格（教職免許や社会福祉士受験資格等）を取得することを目指す場合、所属する専攻によって取得可能な免許が制限されるものもあります。加えてクラブ活動との両立が困難な資格もあるため、出願にあたっては必ず産業社会学部事務室まで問い合わせのうえ、確認してから志望専攻を決めるようにご指導いただくようお願いいたします。

以上